

文化博物館だよりNo.66

みなさん、こんにちは。

3日は「雛祭り」、5日は「啓蟄」となっています。土の中の虫たちも、このところの寒さでまだまだ眠りから覚めてこないかも知れませんね。

今日は「体験教室」とその他のイベント紹介です。

1. 割りばし鉄砲とすりこぎとんぼ作り

2月20日(日)13:00より博物館ロビーで、昔なつかしい「割りばし鉄砲」と「すりこぎとんぼ」作りを実施しました。自然素材と手作りのよさを味わっていただこうと企画したものです。今回の割りばし鉄砲は今年の夏休みに実施したものよりさらに簡単な作り方にして、子どもたちに挑戦してもらいました。作り上げた鉄砲でお菓子の空き箱をねらう子どもたちも保護者の皆さんも童心にかえて楽しいひと時を過ごされていました。「割りばし鉄砲」もはじめのうちは回りにくいのですが、棒をガリガリするうちに不思議とプロペラが回ってきます。本当に不思議なおもちゃで、大人の方にもけっこう人気がありました。



すりこぎとんぼ作り



ボランティアの方が教えてくれます よーく、ねらって！



2. これからの体験教室

3月5日(土)13:00～「お手玉作り」(裁縫道具が必要) 材料費200円(別途、入館料が必要)定員20名

3月12日(土)13:00～「石臼回し」(大豆できな粉を) 材料費200円(別途、入館料が必要)定員20名



出番を待つ「石臼」

上記のどちらも当日申し込みとなっています。13:00に博物館1階ロビーで受付を始めます。

3. 土・日の紙芝居(待ってました！！)

平日の学校団体向け「紙芝居」が今年は土日も特別に上演されます。

3月5日(土)6日(日)13日(日)の10:00から15:00くらいまで、1回20分程度の50年前の紙芝居「黄金バット」とクイズがあります。(入館料必要)

「待ってました！」のかけ声とともに、みなさんも50年前の紙芝居を楽しんでみませんか？



「そのときであります！」



クイズに熱中！

4. 「タンポポをよく見よう in 明石」について

春になると道端のあちこちに咲き始める「たんぽぽ」。綿毛をつまんで「ふーっ」と息をかけて飛ばした経験はみなさんもあるでしょう。明石公園にはカンサイタンポポやセイヨウタンポポがあります。

今回、「兵庫県立人と自然の博物館」と共同で「たんぽぽ調査」をすることになりました。タンポポには在来種と外来種があるそうで、それらの分布状況を調査し、身近な自然環境に関心を持ち、その変化に目を向けることが目的です。身の回りの自然をみんなで調べて見ませんか？

申し込み:明石市立文化博物館に電話してください。(078-918-5400)定員:小学生以上30名

説明会:3月26日(土)13:30~15:30

講師:鈴木 武(人と自然の博物館研究員)

内容:タンポポ調査について・タンポポとその仲間・種類と見分け方・タンポポの花の観察・現地観察(明石公園)

持ち物:近所ですったタンポポの花と種(同じ株から)

受講料:無料

明石市立文化博物館

編集:永田浩史